

令和6年度

入学式要覧



令和6年4月9日（火）

流山市立おおぐろの森中学校

目 次

1. 校歌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 1
2. 学校経営方針・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 2～5
3. 日課表及び時程・・・・・・・・・・・・ p. 6
4. 職員一覧・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 7
5. 1 学年生徒数・・・・・・・・・・・・ p. 8
6. 新入生の部活動について・・・・・・・・ p. 9
7. 部活動紹介・顧問一覧・・・・・・・・ p. 10
8. 年間行事予定・・・・・・・・・・・・ p. 11
9. 校舎配置図・・・・・・・・・・・・ p. 12

式次第

- 一、 開式の言葉
- 一、 国歌 斉唱
- 一、 新入生呼名
- 一、 学校長式辞
- 一、 祝電披露
- 一、 在校生歓迎の言葉
- 一、 新入生誓いの言葉
- 一、 校歌披露
- 一、 閉式の言葉

『二十四番風』

作詞 一青窈
作曲 木村弓
編曲 中川俊郎

山旗雲の切れ間に 差し込んだ光は真つ直ぐ
投げかけた言の葉たち 放課後の友を包む
羽ばたくよ 羽ばたいてくよ 大地を握りしめて
梟 後ろ影から 誰も迷わぬように

私たちが巣立つのは 星霜が織りなす今
きらり輝いた 天の川の空 二十四番風に
ただ目を閉じて 耳を澄ます
「またいつか」 あなたの声が聞こえる

影を伸ばした夕焼け この背に被るは日向坂
やがて芽吹く横顔も 染めゆく廊下の渡り
羽ばたくよ 羽ばたいてくよ 手を振る師の御許
梟 見守る櫺 夢が途絶えぬように

私たちが巣立つのは 遠かった明日が今
希望の海原 どこまでも広く 散散に別れても
ただ目を閉じて 耳を澄ます
「またいつか」 あなたの声が聞こえる

2. 学校経営方針

2024年 流山市立おおぐろの森中学校 マネジメントポリシー

<基本理念>

- ◎おおぐろの森中プライド（pride：誇り）が、
おおぐろの森中ブランド（brand：独自性・信頼・価値）をつくれます。

1 ミッション（使命感）

①経営理念

- ※人間力の向上を目指します。（社会に通用する、人間学の学び）
- ※生徒の主体的な学びを支えます。
- ※体力・忍耐力の向上をサポートします。

②知・徳・体（三刀流）バランスのとれた教育を継承しつつ 新たなイメージ

山・頭・流（さん・とう・りゅう）へ

激しく変化する社会の**流**れに、

頭や体を使って、夢の実現に向けて、

忍耐力と粘り強さを持って**山**（課題）を乗り越えていく。

○生徒

3H→Heart（心・人間力） Head（考える力） Health（健康・体力・忍耐力）

○教職員

3C→チャレンジ（挑戦） コミュニケーション（意思疎通） コンプライアンス
（法令遵守）社会規範、社会道徳

③教育から学びの支援（サポート）へ

ティーチ（teach）からコーチ（coach）へ
ティーチャー（teacher）からコーチャー（coacher）へ
ティーチング（teaching）からコーチング（coaching）へ

④変革を恐れず、改革していく学校（学校は社会の縮図）

チャレンジ精神を大切に、激しく変化する社会に対応できる学校を目指します。
「社会が変われば学校も変わる」を念頭におき、柔軟な対応を図ります。

判断基準は

- ・「生徒のためになるのか。」
- ・5割以上（生徒、保護者、教職員）の賛同が得られるか。

2 ビジョン（構想）

①コンセプト

「ヒーリングスクール」

～自然と木造校舎の温もりの中で、癒やしの空間、安心感を与える学校～

- ・最新の技術・設備と自然との調和を目指します。
- ・誰もが居心地の良い場所であることを目指します。

②キャッチフレーズ

「夢を育むおおぐろ中」 「夢を与えるおおぐろ中」

- ・生徒が将来やってみたい仕事やなりたい自分などの夢（目標）を育てて成長させるためのサポートをします。
- ・また、世界に羽ばたき、他に夢を与えられる人間の育成をめざします。

③スローガン

お・・・ 大きな夢を持ち（目標を持つ）

お・・・ 穏やかに（豊かな心、広い心）

ぐ・・・ グローバルな視点を持って（世界的視野、多様性の尊重）

ろ・・・ 論理的思考で（筋道を立てて考える）

④ゴール（目標）

「自律」

～自ら考え、選択して行動できる生徒の育成～

『みんな違ってそれでいい（多様性の尊重）』

※自らの学習や生活の目標を設定でき、自ら考え、選択して学習や生活への価値や意義を見出し行動できる生徒をイメージしました。

⑤サブゴール

「自立」 「協働」 「貢献」

自立・・・自ら進んで行動する

協働・・・共に力を合わせて活動する

貢献・・・地域、社会、他の人のために力を尽くし、感謝することができる

3 バリュー（行動指針）

～チーム学校から、ファミリー学校へ～

家族のような温かさをめざして

◎生徒のために、保護者・地域・学校職員が、同じベクトルに向かっていけば、みんなが幸せになれると考えます。

◎生徒、教職員ともに失敗をして学ぶことは大であると考えます。そのためには、失敗しても良い、失敗を許せる度量をそれぞれに持っていたいと願います。失敗を恐れているとチャレンジ精神が低下すると思っています。

①行動理念

○人間力の向上

※「人間力の向上なくして、学力の向上なし」・・・生徒

※「人間力の向上なくして、指導技術の進歩なし」・・・教職員

②生徒

○自ら考え行動する姿勢を学びます。

・学習、生活、自治活動をとおして自律を目指します。

・人間力を向上させるため、人間学を学びます。（プロフェッショナルに学ぶ等）

・心に火をつけ、意欲的に学習します。

・**楽しく学びます。**

○仲間を大切にします。

・人の心の痛みがわかります。

・協働して学習します。

・対話（コミュニケーション）力を身につけます。

○他に貢献することで自己肯定感、所属意識を高めます。

・他の人のために力を尽くすことに喜びを感じます。

○感謝の気持ちを大切にします。

・他を敬う心を常に持ち続けます。

・「ありがとう」の言葉を増やします

③管理職

○生徒のためになるかを判断基準として学校全般のマネジメントに徹します。

・幅広い視野をもってマネジメントに努めます。

○生徒の自律性を第一に考えます。

・とにかく生徒に考えさせます。（自治活動の推進）

○保護者や地域、教職員の声を大切にします。

・文句や苦情ではなくて、意見や提案をください。

○教職員の人材育成に努めます。

・プロ意識を醸成します。

・人には優しく、仕事には厳しく。教職員の失敗は校長の責任です。

○教職員の働き方改革を推進します。

・自分の生活が守れなくて、なぜ人を導けるのか。ゆとりがなくては、いい仕事は
できません。生徒と向き合う時間を捻出します。

④教職員

○生徒と向き合うことを第一にします。

・親身になって接します。

・生徒が感動する活動を企画します。

- 自らの人間力の向上に努めます。
 - ・人間学、コミュニケーション力、幅広い教養、同僚性、礼儀、マナー、気配り
- 保護者とのコミュニケーションを大切にします。
 - ・人と人との会話、本音で語ることでできる関係を希望します。
- 指導技術の向上に努めます。
 - ・新しい教育方法にチャレンジします。
 - ・心の教育、人間教育に努めます。
 - ・生徒の心に火をつけ、やる気を育みます。
 - ・**生徒に学ぶことの楽しさを育みます。**
- 同僚性を大切にします。
 - ・助け合いを大切にします。
- 感謝の言葉を合い言葉にします。

⑤研究主題

『ICTを活用した教育の探求』
 一 個別支援、評価、校務との融合 —
 ～ 1人1台端末の効果的な活用で、**楽しく学び**、学びをさらに豊かに～

※生徒一人ひとりの学習権の保障、誰一人取り残さないサポート体制を目指します。
 ※ハイブリッド教育の推進（対面とICTの融合）

⑥チャレンジしたい取り組み

- 人間学教育
 - ・中国古典（論語等）や偉人の名言等を全学年、教育に取り入れます。
 - ・「プロフェッショナルに学ぶ」民間人、一流人に学ぶ機会を設定します。
 - ・学級図書に人間学を学ぶ本（雑誌）を配架します。
 - ・生徒の心に火をつける行事（ミュージックアウトリーチ）を計画します。
- 読書活動を推進します。
 - ・読書量を増やす取り組みを行います。
- 自律、自治活動の醸成
 - ・校則を撤廃します。
 - ・TPOを考えた立ち振る舞いを醸成します。
- ゆとりのある生活
 - ・部活動の朝練習は行いません。（睡眠時間、朝食時間の確保）
- 人の心の痛みや多様性を感じることのできる学習
 - ・被災（震災、津波、戦争）された人や地域への校外学習や宿泊行事の実施
 - ・多様性を深める宿泊行事等の実施

3. 日課表及び時程

- ・朝の部活動は原則行わない。 ・8：00に昇降口を開錠する。

	月	火	水	木	金
8:15～ 8:20	出席確認・心の天気・一日一言				
8:20～ 8:25	SHR				
1校時 8:30～ 9:20	1 (主任会)	7	13	18	24
2校時 9:30～10:20	2	8	14	19	25
3校時 10:30～11:20	3	9	15	20	26
4校時 11:30～12:20	4	10	16	21	27
12:20～13:00	給食 (40分間)				
13:00～13:15	昼休み (15分間)				
13:20～13:35	H R (15分間)				
5校時 13:40～14:30	5	11	17 学級活動	22	28
6校時 14:40～15:30	6	12		23 (総合)	29 総合
15:35～15:45	清掃 (10分間)				
15:50	学級解散				
部活動	15:55～	15:55～	×	15:55～	15:55～
最終下校時間	16:30～17:15 日没時間によって変更する。 また日課により、これより早くなることもある。				

- ・チャイムは8：15（登校完了）のみとする。
- ・年間35週のうち、A時間割(20週)、B時間割(15週)で日課を作成する。
- ・水曜日は5時間、部活動なしを基本とする。
- ・総合的な学習の時間は木曜日の6校時（A日課：1年生は授業、2，3年生は総合）、金曜日の6校時(全校)に行く。
- ・昼休み後にHRを実施する。
- ・隔週で1時間、生徒指導部会を実施し、学年を越えた生徒の共通理解を行う。また、生徒指導部会は「いじめ防止対策委員会」も兼ねる。
- ・最終下校時刻は、日没時刻の30分前を目安に、週毎に設定する。最終下校時刻を意識した部活動を行う。また、平日の部活動は、「2時間程度」の規定に沿い、下校時刻を調整することがある。

期間	最終下校時刻	期間	最終下校時刻
4月～5月上旬	17:15	9月下旬～10月上旬	17:00
5月上旬～下旬	17:15	10月上旬～11月中旬	16:45
6月～7月上旬	17:15	11月中旬～冬休み期間	16:30
7月上旬～1学期間	17:15	1月～2月中旬	16:30
夏休み期間	16:00	2月中旬～2月下旬	16:45
9月上旬～中旬	17:15	2月下旬～3月中旬	17:00
9月中旬～下旬	17:15	3月中旬～3学期間	17:00
		春休み期間	16:00

5. 1 学年生徒数

令和6年4月9日現在

学級	男子	女子	計
1組	17名	17名	34名
2組	16名	18名	34名
3組	16名	18名	34名
4組	15名	19名	34名
5組	15名	18名	33名
6組	16名	17名	33名
合計	95名	107名	202名

6. 新入生の部活動について

		行事・日課	練習	新入生	2・3年生
4月 8日	月	始業式、給食あり 入学式準備	×		5校時入学式準備
9日	火	入学式	○	入学式参加 部活動なし	自宅学習 再登校 14:00～16:00
10日	水	給食開始	×	部活動なし	
11日	木		○	部活動なし	
12日	金		○	部活動なし	
13日	土			部活動なし	
14日	日			部活動なし	
15日	月		○	部活動なし	
16日	火		×	部活動なし	
17日	水	新入生歓迎会（PM） ※部活動紹介あり	×	部活動なし 入部に関する連絡(メール)	
18日	木	正式日課開始 5時間授業	○	仮入部① 16:00 終了 16:20 下校	
19日	金	6時間授業	○	仮入部② 16:20 終了 16:40 下校	
20日	土			部活動なし	
21日	日			部活動なし	
22日	月	メール(アンケート)回答期限 6時間授業	○	仮入部③ 16:20 終了 16:40 下校	
23日	火	1年生正式入部 6時間授業	○	部活動ミーティング	全学年活動開始

- ・放課後の部活動仮入部期間は、新入生の完全下校時刻が2・3年生より早くなります。
- ・「部活動体験」には、各部活動に適した服装で参加します。
- ・13日(土)、14日(日)、20日(土)、21日(日)の部活動は、新入生の見学及び体験は行いません。
- ・4月17日(水)にスキットメールにより、入部に関する連絡を行います。全家庭対象のアンケートが添付されますので、入部希望の有無および部活動名を回答してください。回答期限は4月22日(月)です。
- ・4月23日(火)に部活動ミーティングを実施します。入部希望者はミーティングに参加します。